

はまなす

公益社団法人 北海道看護協会
札幌第4支部だより

■発行所：公益社団法人 北海道看護協会札幌第4支部 編集責任者 中川千江子

HOKKAIDO NURSING ASSOCIATION **HAMANASU**



5月12日は



看護の日

Contents

- 令和6年度 札幌第4支部 研修報告
- 看護の日のイベント開催
- TOPICS 施設・新人紹介 溪和会江別病院
- 会員募集 他



令和6年度 札幌第4支部 研修報告



『医療安全研修・交流会』

職場内で起こりやすいハラスメントの現状とその対策 ～働きやすい、働き続けられる職場づくりを目指して～

- 日 時：2024年7月6日(土)13:30～15:30
- 場 所：ACA-A 16階 大研修室1606
(札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ 45)
- 参加人数：50名
- 講 師：札幌総合法律事務所 弁護士
福田 直之 氏
ファシリテーター-弁護士
佃氏・石塚氏・山中氏・庄子氏
- 研修目的：職場で起こりやすいハラスメントとその対応について学び、自施設での対策につなげることができる



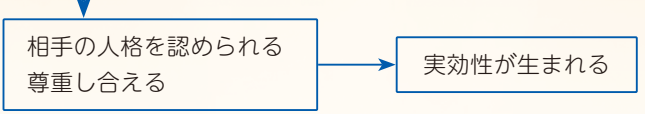
昨年に引き続き、福田氏から職場内で起こりやすいハラスメントの講義をしていただきました。昨年は医療や介護施設、在宅などで起こりやすいハラスメントの対応でしたが今年度はより身近に起こりうる職場内でのハラスメントの現状と対策について講義をいただきました。また今回はパワーアップし福田氏の他に4人の弁護士の方にも来ていただきました。即席の『行列のできる相談所』の実演や交流会ではファシリテーターとしても参加してもらい身近な相談の質問にも対応していただきとても充実した研修となりました。

◎法的な考え方の概念の予防策での講義で『職場のハラスメントはなくすべきである』という方針を明確に打ち出すことが大切



左から石塚氏、庄子氏、山中氏、佃氏

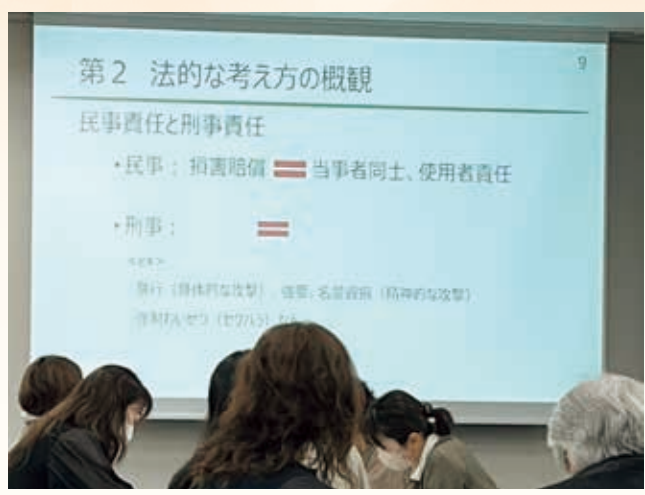
- 1. トップのメッセージ
- 2. ルールを決める
- 3. 実態を把握する
- 4. 教育する
- 5. 相談や解決の場を設置する



- ◎ハラスメント事案に関する対策
- ・ハラスメントは主観と客観の集合体
(客観面に平素から注意、指導目的でもアウトはアウト、言葉遣い、口調、時間、場所)
 - ・主観的要素に左右されやすい
(あの人に言われたという不満、不快感、平素の態度、関係等の重要性)
 - ・時間的経過・複合的な要素で生じていることも多い
(人間関係、メンタル状況の悪化を基礎にハラスメントが起きることもあり)
 - ・コミュニケーションの重要性
(**二次被害**が上司、組織への信頼失墜、抗争激化を招く。**但し慎重に。**)

加害者と指摘されたら

ハラスメント→客観的評価・非難は免れない→指摘を受けること自体を省みる
 どうすればパワハラにならずに効果的に部下を指導できるか



被害者になってしまったら

- メモ (感情× 事実のみ◎)
- 日記
- 音声録音
- 診察記録/診断書 (病院受診の場合)
 - ・人事・総務・通達窓口などの内部機関
 - ・労働基準監督署・都道府県労働局・警察署などの外部機関
 - ・弁護士への相談もあり、逃げるもあり

この仕事をしているとさまざまハラスメントに遭遇することが考えられます。
 今回の研修を活かしていきたいと思いました。

札幌第4支部・支部企画研修

「病院と訪問看護の情報共有」研修会

- 日 時：2024年7月6日(土)
- 場 所：北海道看護協会 4階研修室
- 講 師：社会医療法人母恋 天使病院外来課長
 がん化学療法看護認定看護師
 沢井 直美 氏
 社会医療法人禎心会 道央在宅事業部 訪問看護統括副部長 在宅看護専門看護師・認定看護管理者
 今野 好江 氏

入退院支援における看護師間の情報共有について内容や連携のタイミング、看護要約の活用等、病院と訪問看護、双方の視点でご講義いただき、その後質疑応答・グループワークを行いました。その人らしい生活ができるよう患者を「生活者」として考えることが、安心して療養の継続につながる。また、在宅生活の様子を外来や病棟にフィードバックすることは、患者の情報交換だけでなく病院・訪問看護双方の関係作りや連携のしやすさにつながります。病院、訪問看護双方が「この情報は要らないかな？」と判断するのではなく、出し惜みなく情報を提供することが重要であると学びました。今回、ハイブリット形式での研修会でしたが、グループワークでは、病棟・外来・訪看等それぞれの立場で、連携で困っていることや工夫していることなど積極的に意見交換が行われていました。(記：小沼)



助産師職能委員会

CLoCMip®必須研修【WHC指定項目】～女性に対する暴力予防の支援～

- 日 時：2024年7月20日(土)10:00～12:00
- 場 所：ACU-A 16階 1606 (大研修室)
ZOOMと対面のハイブリッド方式
- 参加人数：会場18名 オンライン23名
- 講 師：女のスペース・おん/代表 山崎 菊乃 氏

講義はDVのスクリーニング・院内での対応・多職種連携の重要性について、DV被害者対応マニュアルを含めた内容であった。

また、DVを受けた母子が、緊急一時保護されシェルター入所となり、その後の生活や多職種による支援を受け自立していく流れを具体的に学ぶことができた。

グループワークでは、講師が経験した事例について支援方法を検討する内容であり、他施設の方と経験談を踏まえながら、活発な意見交換が行われていた。グループワークのまとめでは、実際の支援方法や対象者の反応などを確認でき、学びを深めることができた。

今回の研修で具体的な支援方法をイメージすることができ、アンケートでも参加者の9割が今後活かしていけると回答しており、有意義な研修となった。



助産師職能委員会

CLoCMip®【マタニティケア能力】授乳支援～実践を学ぼう！退院後の授乳支援～

- 日 時：2024年7月20日(土)13:00～15:00
- 場 所：ACU-A 16階 1606 (大研修室)
ZOOMと対面のハイブリッド方式
- 参加人数：会場23名 オンライン47名
- 講 師：マミーズクリニックちとせ/看護師長 佐藤 利江子 氏

研修内容は「授乳・離乳支援ガイド」「母乳育児成功のための10か条」「乳腺炎ケアガイドライン」「産後1か月以降の授乳支援」の4点についてであった。

講師は事前に質問を受け付け、講義の中で回答をしながら進め、おっぱい模型と人形を用いながら授乳指導のポイントを説明していた。月齢による授乳支援のポイントや離乳食についても実際の支援方法をイメージしやすい内容であった。また、助産師は母の気持ちをよく聞いて、支え寄り添うという関りの姿勢についても事例を通して学ぶことができた。

参加者からはわかりやすかったとの反応も多く、アンケート結果からも実践に活かしていけるとの回答が9割を占めていた。

研修方法は、オンライン希望者が多く、オンライン参加者の中で、札幌支部以外の割合は約4割を占め、遠方からでも参加しやすいとの意見もあり、ニーズが高かった。





看護の日のイベント開催

5月12日は
看護の日

看護の日とは…

看護の日とは、毎年5月12日の国際ナースデーの日本で制定された記念日としての名称です。フローレンスナイチンゲールの誕生日に由来し、ナイチンゲールの日ともいわれています。

日本では、国民の看護及び看護職に対する理解を深めるとともに、その社会的評価を高めていくための記念日として看護週間とともに1990年に制定され、1991年より実施されています。看護週間は5月12日を含む週の日曜日から土曜日までとされており、都道府県ごとにふれあい看護体験や看護の出前授業など、様々な行事が行われています。



札幌第4支部でも、2024年5月11日に、札幌元町イオンにおいて「看護の日」のイベントが開催されました。イベント担当者は、カラフルな看護協会の法被を着て、イオンを訪れた方々へ血圧測定や血管年齢の測定を行いました。たくさんの買い物客の方々が、「何のイベントですか?」「血管年齢の測定はやったことがないから、いいですか?」などと興味を持ってきており、イベントブースのところで足を止めてくださいました。また「かんごちゃん」も一緒にイベントを盛り上げてくれており、子供たちは一緒に写真を撮ったり握手をしたり、とてもうれしそうな顔で「バイバイ!!」と言って帰って行っていました。みんなから大人気のかんごちゃんも、大忙しだったようです。オリジナルのボールペンやシール、ティッシュといったプレゼントもあり、小さな子供から大人までが楽しめて、笑顔で「またね」と言って帰っていく、良いイベントだったと感じています。



かんごちゃんとは…

「看護の日・看護週間」事業では、メインテーマ“看護の心をみんなの心に”を伝えるとともに、対象を主に若年層として「看護の人材確保」を目的とした事業を実施しています。その事業の一環として、「看護の日・看護週間」事業に関する理解や支持を得るためのメッセージャーとして、2022年2月に公表した「看護の日」のキャラクターが「かんごちゃん」です。





Topics

施設紹介

溪和会

江別病院

溪和会江別病院について ～心を磨く、心ある医療～

溪和会江別病院は昭和62年（1987年）11月に開設された、199床の病院です。4大疾病（がん、心筋梗塞、脳卒中、糖尿病）などの急性期医療を中心に取り組んでまいりました。診療科も外科、脳神経外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、整形外科、乳腺外科、透析など複数の診療科を備えております。

江別市は高齢化率も急速に進んでおり入院している患者さんも高齢者が多くを占めております。救急搬送後、急性期の治療を終えた後、複数の疾患を抱えている患者さんは、自宅退院まで、充分なりハビリが必要です。患者さんが住み慣れた地域で継続した医療提供とリハビリを受けられるために令和3年（2021年）7月に地域包括ケア病棟を開設しました。また、令和5年（2023年）4月には「訪問看護ステーションてとて」も同敷地内に開設されましたので、急性期から在宅までの一連のながれを院内で完結することができました。

看護部はこの3年間で看護職員が長く働き続けられる環境作りに力を注いでまいりました。看護部の理念でもあります「思いやりと温かみのある看護」を実現するために看護体制や看護方式の見直しを行いました。令和5年（2023年）9月より入院基本料1（7対1）に変更になり、患者さんへは手厚い看護の実践と看護教育をクリニカルラダーを用いて行い「看護の質」を担保できる環境作りに注力しております。おかげさまで、離職率も下がり、同時に時間外勤務も全国平均を下回ることが出来ました。認定看護師も複数人配置され、認知症認定看護師2名、感染管理認定看護師1名、皮膚・排泄ケア認定看護師（特定行為3区分）1名他、認定看護管理者4名が活躍しております。また、認定看護師が専門分野の教育、看護部の体制作りなど相談も受けており地域施設や地域にお住まいの方と「顔の見える」連携も行っております。

溪和会江別病院

〒069-0817

江別市野幌代々木町81番地6



Topics

新人紹介

溪和会

江別病院



新人紹介

初々しい面持ちで不安と希望を胸に10人の新人看護師が、新しい一歩を踏み出しました。入職後は1年間を通じて教育プログラムが組まれています。リアリティショックを少しでも和らげスムーズに職場適応できるよう、新人看護職員研修ガイドラインに基づき、約1カ月の若葉教室（集合研修・OJT）を企画・実施しています。各部署のチームリーダーが、新人教育担当者として年間教育プログラムに沿って研修を行い、知識・技術のステップアップをサポートしています。当院は、認定看護管理者、感染看護認定看護師、認知症看護認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師が在籍しており、専門領域の研修も充実しています。研修期間中は、看護補助者と「かるがも」を取り入れ、看護補助者との協働や役割を知る貴重な機会となりました。1カ月の研修期間を共に過ごし、考え・経験したことは、新人看護師の大きな学びと成長に繋がりました。そして、ここで出会った同期の繋がりを大切に、お互いを支え合いながら成長していくことを期待しています。





会 員 募 集

北海道看護協会札幌第4支部では、看護の質の向上をめざした活動や事業を行っています。また、看護職を取り巻く環境が大きく変化している今、多岐に渡る研修が準備されています。研修に参加して友達の輪を広げましょう。入会は、右記までご連絡ください。

連絡先 北海道看護協会総務課

電 話 011-863-6731

会 費 16,500円

募 集 中 の

テ ー マ

表紙写真

季節の風景・看護の風景・ご自身の作品・ペット紹介など、なんでもOKです。

施設紹介・スタッフ紹介

自薦他薦かまいません（写真数枚、本文400字程度）

連絡先

札幌第4支部 広報委員会

心優会中江病院 小原 路子

Email: nakae-west4@shinyukai-r.or.jp

編集後記

9月に入り、朝晩が涼しくなり、過ごしやすくなってきました。今年の夏は、昨年よりは涼しかったように思います。

パリオリンピックが終わりましたが、金銀銅合わせて45個もメダルを取り、過去最高とのことでした。私は全部は見れていませんが、スケートボードや体操を見て、技のすごさや、チームの団結力に感動しました。

次回はまなすは、12月頃の発行を予定しています。写真、施設紹介なども募集していますので、ぜひご連絡いただけたらと思います。

(記：小原)



札幌第4支部会員数



第4支部HPはこちら

保健師：93名 看護師：4,494名

助産師：218名 准看護師：81名

2024年8月末会員数：4,886名

2024年度札幌第4支部目標会員数：5,090名